

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕 病 院 長 真田 建史

〔編集責任者〕 広報委員長 真田 建史

〔住所〕 〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕 03-3300-5231(代表)

第200号

[2024年4月30日発]

病院長就任のご挨拶

昭和大学附属烏山病院 病院長 真田 建史

このたび本年4月1日より昭和大学附属烏山病院（以下、烏山病院）の病院長に就任いたしました。烏山病院は1926年5月に森崎半治先生が創設された、国内有数の歴史を持つ精神科専門の病院です。この歴史と伝統ある烏山病院の病院長という重責を担うことは身の引き締まる思いですが、次なる100年に向けて、これまでと何ら変わることなく、職員の皆さまと協働しながら邁進していく所存です。烏山病院の広報誌「あおぞら」の記念すべき200号の紙面において、就任のご挨拶をさせていただければと思います。

「あおぞら」の発行が始まった2007年、世界的な学術誌「The Lancet」において、「No health without mental health（メンタルヘルス抜きに健康は語れない）」というレビューが発表されました。2010年には、世界的な学術誌「Nature」において、当時の編集長が「これからの10年間は精神疾患の時代」と銘打ちました。2013年には、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病と並んで、精神疾患が各都道府県が作成する医療計画の5大疾病に数えられることになり、それから早10年が経ちました。

この10年で精神科医療を取り巻く環境は大きく変貌してきました。我々の烏山病院もしかりです。精神科患者さんの社会復帰活動を中心とした取り組みから、2008年以降は精神科救急病床の開設・拡充とともに、全国に先駆けて成人発達障害の専門外来とデイケアの開設、ストレスケアを中心とする特別病床の開設、さらに2014年にはアルコールのみならず、薬物、ギャンブル、インターネットやゲーム等を対象としたアディクション（依存症）専門外来を開設して、多様化する患者さんのニーズに応えるべく、シフトチェンジしてまいりました。

烏山病院は2026年5月に創設100周年を迎えます。これからもパイオニア精神を持ち、必要なときに誰にでも利用していただける、広く社会に開かれた病院でありたいと考えています。「常に相手の立場に立って、まごころを尽くす」本学建学の精神を忘れることなく、患者さんのために何が出来るのかを改めて職員の皆さまに問い続け、共に考えていきたいと思っております。



着任のご挨拶

I. 精神医学講座 講師 笹森 大貴

昨年度は横浜市北部病院で勤務しておりました。それ以前は烏山病院で勤務していたので、戻ることができ大変うれしく思います。4月からは主にB3病棟で勤務させていただいております。患者さん、スタッフの皆さんのお役に立てるように頑張っていきます。趣味は漫画です。オススメがありましたら是非教えてください。よろしく申し上げます。

II. 精神医学講座 助教(医科) 秋庭 愛

令和6年度に入局させていただきました、秋庭 愛(あきにわ まな)と申します。東京医科大学を卒業後、分院の八王子医療センターで初期研修プログラムを行いました。その後は形成外科に入局しましたが精神科へ転科を決意し、ご縁があつてこの度昭和大学精神科に入局しました。4月からは昭和大学附属烏山病院のC3病棟の鈴木洋久先生の元で学ばせていただいております。

医局の風通しがよく、病棟もとても働きやすい環境で勤務しています。日々精進していきますので、ご指導ご鞭撻の程宜しく願いいたします。

III. 精神医学講座 助教(医科) 大橋 尊

はじめまして、今年度入局しました大橋尊と申します。現在はC4病棟で勤務しております。

心の健康を支える重要性を日々感じており、チームの一員として質の高い医療を提供できるよう日々努めて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。





IV. 精神医学講座 助教(医科) 笠井 隆央

今年度から烏山病院でお世話になっております、精神科医 2 年目の笠井隆央です。大学 6 年間、研修医 2 年間と昭和大学にお世話になり続けて今年で 10 年目になりましたが、相変わらず分からないことだらけで、勉強の必要性を改めて感じております。患者さんに寄り添った精神医療が提供できるように邁進してまいります。よろしくお願いいたします。

V. 精神医学講座 助教(医科) 二井 はるな

この度 A4 病棟に配属されました、専攻医一年目の二井はるなです。広島県育ちで、昭和大学出身です。友人が統合失調症だったことから中学生の時に精神科に興味を持ち、入局させていただきました。即戦力になれるよう日々全力で頑張りますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

VI. 精神医学講座 助教(医科) 本郷 裕一郎

今年度から医師として配属された精神科 1 年目の本郷裕一郎と申します。初期研修医から専攻医に立場が変わったことで、責任感を感じるとともに日々成長を実感しております。私の抱負は、患者様に信頼される医療を提供し、一人ひとりに寄り添いながら最善の治療を行うことです。医師としてまだまだ未熟ではありますが、皆様と共により良い医療を目指していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

VII. 精神医学講座 助教(医科) 宮脇 啓一郎

初めまして今年度より A3 病棟にてお世話になっております。宮脇啓一郎と申します。私は昭和大学を卒業し、外病院にて初期研修を行い、現在烏山病院にて日々学ばさせていただいております。患者様、医療スタッフの方々、そして自分の成長のため精進していきたいと考えています。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



デイケア活動 SST について

S・T さん

水曜日の 12:30 から行われている SST というプログラムについて紹介します。

SST は(Social-Skills-Training)の略で、社会生活を送るにあたり必要なスキルを伸ばすことを目的としています。このプログラムでは、メンバーが生活をしていて困ったことや、みんなに聞いてみたいことを整理して、毎週テーマとして挙げています。その事について、ロールプレイやメンバーからのアイデアを元にどう対処するのがいいのかを考えていきます。

実際に挙げられたテーマとして、「衝動買いが多いため防ぎたい」というのがありました。

個人的に参考になったアイデアとして、「既に自分が同じようなものを持っていないか、百貨などで代用できないか一旦考えてみる」があります。この案は、商品の購入までに一呼吸置く事ができ、衝動買いに対しての根本的な対策になると思いました。また、所有物を把握しやすくなるため、日頃から意識できるとお金をより有効に使えるようになると思いました。

SST は登録制のプログラムで、本格的に参加する際には長期目標とそれを達成するための短期目標を設定します。私は 4 月からの目標として、「会話できる人を増やすために自分から積極的に挨拶する」ことを意識しています。SST は社会性を身に着けるのに役に立つプログラムのため、興味がある方は是非一度見学に来てください。



総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時

土曜日 8時30分～13時

電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時

土曜日 8時30分～12時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《3月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 8,687(8,063) 6,542(6,097)

◇一日平均患者数 280.2(261.7) 261.7(265.1)

◆診療実日数 31(29) 25(23)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



【編集後記】

新しい年度になって広報委員会も新たなメンバーに。何よりも委員長が真田院長になりました！きっとこれからはもっとタイムリーに記事をお届けできるはずです。僕もメンバーとしては残させていただきました。これからホームページやSNSや……。色々新しいことを行えるのではないかと今からワクワクしています。新しい年度、皆さんも不安もあるかもしれませんが変化を楽しんでくださいね！



(広報委員 常岡)